



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

# The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 2-7, HARUOKA, 1CHOUME CHIKUSA-KU, NAGOYA, 464-0848 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2017 / 2018)

国際会長 「ともに、光の中を歩もう」  
 アジア会長 「ワイズ運動を尊重しよう」  
 西日本区理事 2022年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」  
 中部部長 「愛し合い、助け合い、心はいつも青春」  
 名古屋クラブ会長 「ワイズは楽しく、有意義に」

2017 ~ 2018 1月号 (No850)

## 1月例会プログラム

と き：2018年1月9日(火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.

と ころ：名古屋 YMCA

司 会 義井裕子さん

開会宣言 会 長 谷川 修君

ワイズソング

聖書朗読・祈祷 相馬静香さん

食 事

プログラム

卓話 「インドを旅して」

名古屋 YMCA スタッフ 遠藤美恵子さん

諸報告

ハッピーバースデー

ドライバースピーチ 塩田 保君

YMCA の歌

閉会宣言 会 長 谷川 修君

## チャーター 70 周年に思いを馳せて

谷 川 修

1947年8月27日、名古屋ワイズメンズクラブは大阪クラブのスポンサーにより誕生、日本で6番目、中部では金沢クラブに次いで2番目のクラブでした。戦後2年目ということ考えると、街には戦傷負傷者があふれ闇市がたち、親を亡くしたたくさん子どもたちが路上生活を余儀なくされているような世情だったのかと想像します。多くの方々、とりわけ若者が価値観の大転換を迫られ、よってたつべき人生の道しるべを求めて、キリスト教会に足しげく通ったともいわれています。すでに発足30数年が経つYMCAとともに、世界の平和、社会奉仕の旨とする若者の集まりとしてのワイズメンズクラブへの期待や熱き想いがその後の発展を後押ししたことだろうと思います。最初は、会員の自宅を交代で例会がもたれていたとも聞きました。ロータリークラブのその名前の由来が、会員の会社事務所や自宅などを回るようにして例会を開いたことにあると聞き及んでいますが、まさに同じことが行われていたことが感慨深いです。それから70年。多い時は会員数が50名を超え、新たなクラブをスポンサーしました。名古屋東海、名古屋南山、四日市、名古屋グランパス、津クラブ、今はなくなった名古屋サウスクラブや名古屋プラザクラブなどが、子クラブ、孫クラブとして誕生し、中部の勢力は200名を超える勢いもありましたが、時代の趨勢の中で、YMCAの事業縮小とともに、現在のような衰退といえる事態にあります。

## 第 2 例 会

と き：2018年1月16日(火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.

と ころ：名古屋 YMCA

プログラム：2月例会 70周年記念事業の件 その他

会 長 谷川 修 書 記 川本 鈴木(貞)  
 副 会 長 常川 鬼頭 会 計 塩田 川口  
 プリテン 久保田 伊左治 川口 平野

12月クラブ出席		B F		12月 個人出席								第1例会 (12/9)								
在 籍	24名	切手	180pt	伊左治	塩田	◎	広 瀬	◎	◎				川本	長井	西村	深谷	尾関			
第1例会	19名		現金	0pt	尾 関	○	鈴木(貞)	○	深 谷	○	◎				(メネット)	相馬	平野			
メネット	5名	小計	180pt	小 尾	○	鈴木(孝)	○	山 口	○	◎				(コメット)	相馬	平野				
ゲスト・ピシター	2名		切手	392pt	可 知	○	相 馬	○	義 井	○	◎				(ゲスト)	惟任	藤本			
第2例会	7名	現金	0pt	川 口	○	谷 川	◎	渡 辺	◎	◎				(メン)	小尾	川本	塩田	西村	谷川	渡辺
メネット	名		切手	392pt	川 本	◎	常 川	◎	◎				(メネット)	尾関	西村	加藤(邦)	深谷			
ゲスト	名	合計	392pt	河 部	◎	寺 田	◎	◎				(ゲスト)	加藤(朱)							
メーキャップ	名		現金	0pt	鬼 頭	○	中 村	○	◎				◎							
出席率	76%	合計	392pt	木 本	○	西 村	◎	◎				◎								
メネット会	名		合計	392pt	久保田	◎	平 野	◎	◎				◎							
ゲスト	名												◎第1 〇第2		◎第1・第2 Mメーキャップ					

それでも、80歳、90歳を超える古手メンバーの何と元気なことが。超高齢社会にある日本において、いつまでも溍溍と人生を送るお手本を示していると思います。先細り感はいやが応もない事実と受け止めなくてはならないと思いますが、メンバーのその生き様をこれからの日本のあり様を考えるうえで貴重な見本となったら嬉しいなと思います。

去年は、新たな会員から、クラブの根幹にかかわる問題提

起を頂きました。それを論議でき、よきクラブの未来像を描き、100周年に向かう力とするようなクラブ運営をと願っています。それを担うのは会員みんなの結集力です。どうぞ、皆さん、今年もよろしくお願ひ申し上げます。いつまでも楽しく有意義なワイズライフをみんなが力を合わせて紡いでいきましょう。

■■■ 第1例会レポート ■■■

と き：2017年12月9日（土） PM5：30～20：00  
と ころ：アイリス愛知 12階グランシャリオ

12月はクリスマス例会が第1例会になりました。第一部はクリスマス礼拝で司会は川本龍資メン、説教は塩田保メン、礼拝の中の祈禱は中村隆メン（名古屋YMCA総主事）、そしてオルガンは西村牧子メネットでした。

塩田メンの奨励では、ルカによる福音書2章8～14節から、「キリスト降誕の夜、天使達が“天に神の栄光、地には平和”と歌ったと記されていますが、2000年後の今なお平和は遠く、特に宗教の対立がそれを阻害しているのは悲しいことです。全ての人々が宗教や人種の違いを互いに認め合い寛容と思いやりをもって理解し合い、平和に共存出来ることを切に願います。」のメッセージをいただきました。簡素な中にも厳かな雰囲気醸し出す礼拝でした。

第二部は谷川修会長の点鐘に続いてワイズソング、参加者の紹介、川口恵メンによる食前感謝の祈り、尾関明メンの音頭による乾杯、会食・歓談とスムーズに流れていきました。今年の会場は12階で夜景もととてもすばらしく、またゆったりとした、解放された雰囲気、皆さんクリスマス例会を楽しまれた様子でした。

会食が一段落したあたりで、アトラクションが始まりまし



た。HAZUさんの道化姿でのマジック、風船でいろいろな動物をつくる等、われわれフロアーの者を巻き込んでのエンターテイメントで、‘クラウン・パフォーマンス’が大いに発揮され、場を楽しませていただきました。

名古屋YMCAから藤本涼子さん、惟任将彦さんが参加くださり、連絡主事の広瀬謙一さんは仕事の関係で例会終わりごろの参加でしたが、広瀬さんに代わって、藤本さんがしっかりとクリスマス献金のアピールをされていました。コメントも相馬朋子さん、平野智大さん、と総勢28名でした。また、全くの飛び入りで、かつて根ノ上キャンプ場を中心にして活動されていた少年部OBの都築さんが、東海クラブの八木さんと一緒に参加され、楽しんで下さいました。

（西村 清）

すことができました。

尚、名古屋地区4ワイズからも聖歌隊、会場設営、会場警備等のご協力をいただいた方々に感謝いたします。

2017 YMCA クリスマスキャロル

歳末の風物詩の一つとして定着してきたYMCA クリスマスキャロル。今年も12月23日JR名駅タワーズガーデンに於いて開催されました。

安井正規氏の電子オルガンの音が暮れゆく寒空の中に流れ、真赤なサンタクロースの衣装をまとった聖歌隊138名の美しい歌声が響きました。

訪れた聴衆の方々と、きよしこの夜、シングルベル等を一緒に歌いともに楽しいひとときを過



## ■ ■ ■ 第 2 例会レポート ■ ■ ■

と き：2017年12月12日（火）19：00～20：30

ところ：名古屋 YMCA

### 1. 12月クリスマス例会（第一例会）振返り

・参加総数29名（プラス飛び入り2名）で、クラブメンバーと家族中心の構成であった。

ゲストを呼ぶ「力」が無くなってきているのか？ 今後不安を覚える

・アイリス愛知の食事内容が物足りなかった。70周年記念例会もアイリス愛知なので、食事全般に対し、何らかの対策を講ずる必要が有る。

・アトラクションの「HAZU」さんは非常に良かった。皆さんが童心に帰って楽しむ事が出来た。

### 2. 愛実の会クリスマス奉仕振返り

・今年から名古屋クラブとして奉仕に係わる形となった。メネット会の長年に亘る奉仕を継承できて良い形となった。昼食作りの奉仕を復活させたことは、特筆に値する。谷川会長・小尾メンに感謝。次年度も引き続き、親父バンドによる歌の奉仕と昼食作りを続けたい。

### 3. 次期会長選考について

・選考に苦慮をしている状況。復帰入会者の深谷聡メンに打診する事を決めた。（谷川会長）

・次期中部の国際・交流主査については、谷川メンで決定した。

### 4. 中部EMC主査代行の件

・各クラブの例会出席報告など、集計業務は川本が代行することを決定。→中部の各クラブ会長宛に、川本が代行する旨の連絡書を発行する（12/14実施済）

・EMCシンポジウム等イベント開催については、山内部長の意向をお聞きし、谷川会長主導で進める事を決定した。（次回の中部評議会と同日開催か？）

### 5. 70周年記念事業について

・参加者募集について、現在までの申込み状況は未だ数人に留まっている。年明けからは、メンバー個別で所縁のワイズ、元ワイズや関係者に案内を送付し、参加を促す。

・IBC、DBC交流会について、記念例会前日の3月3日（土）午後6：00～交流食事会をメイン行事として行う。会場を40名で仮予約済み。

（会場：魚屋の台所「下の一色錦店」中区錦2-4-11：地下鉄丸の内5番出口 徒歩1分）

DBCの熱海と紀の川には午後2時ごろ名古屋駅集合し、近場の観光を実施する（トヨタ産業技術記念館、ノリタケの森など3時間程度を予定）。IBC聖岩も合流できれば・・・。

・記念グッズ：1月例会にて最終決定（薄紫のバンダナ）  
・記念誌：年内に編集会議を実施予定

### 6. 1月以降の第一例会のとりくみ

・1月：名古屋Y遠藤（キョメ）スタッフによる「インド旅行記」

・2月：70周年記念例会に向けての打合せ（役割分担など）

・3月：70周年記念例会を第一例会とする

・4月：メネットナイトに位置づけ、今期の西日本区メネット事業のテーマ「子供の貧困」をテーマに外部卓話者を招く

・5月：メンバーによる卓話を予定（川本メンのポンプの話、常川メンの車の話など）

・6月：年度のまとめ

### 7. YMCA行事について

・クリスマスカードコンテスト：応募総数1332点、審査委員による選考が終了し、特選の132点を12/12～12/18、栄市民ギャラリーにて展示（地下鉄久屋大通駅上北側通路）。表彰式は、南山YMCAで12/16（土）午後2時～

・クリスマスキャロルインタワーズ：12/23（土）機材搬入等、お手伝いいただける方は、午後4時名古屋駅ロータリー左手（笹島寄り）交番前に集合してください。

・名古屋YMCA日本語学院開校（プレ開校）の研修会：1/25（木）11：00～。参加希望は1/10までに名古屋YMCA惟任さんまで

・ピンクシャツデー：今年で3回目のピンクシャツデーは2月28日（水）。ワイズ西日本区でピンクのTシャツを製作（メールにて注文受付中）

・ユースリーダー感謝会：ユースボランティアリーダー送り出しの会、3月21日（祝）南山YMCAにて実施予定、時間は未定。（川本龍資）

## 西日本区強調月間リスト 1月 IBC DBC

IBC/DBC 締結クラブとの交歓だけでなく、交流を深めて協働事業を検討しましょう。

国際・交流事業主任 金澤市郎（京都）



# Menettes of Nagoya Y's Men's Club

## 今月の聖句

『初めに、神は天地を創造された。地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け、光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第一の日である。』  
創世記 1 章 1～5 節  
西村 清

2018年の幕開けです。それぞれどのような思いを描いて新年を迎えられたでしょうか。この一年も神様の祝福が豊かに与えられるように祈ります。

2017年を振り返る時、シリア難民でヨーロッパ諸国はその受け入れをめぐる右往左往し、「自国第一主義」のもとにポピュリズムが躍進し、中国も「一帯一路」の標語の下、世界経済に覇権をかけ、また北朝鮮はミサイル発射、核実験で激しく世界に挑戦しています。そのような流れの中で日本も戦争への備えを強化しようとしています。

このような世界の動きの中で、特筆すべきことは核兵器廃絶を訴えたICANにノーベル平和賞を授与されたことです。この平和賞授賞式で講演したサーロー節子さんは関学のアメリカーナ宣教師サーローさんの連合いで、カナダに

在住されている。彼女は広島女学院の13歳の生徒の時被爆し、青白い閃光の一瞬に建物の下敷きになり、死を意識しながら、突然「あきらめるな。隙間から光が入ってくるのが見えるだろう？そこに向かって、はって行きなさい」という声を聞いてはい出た。建物は燃え、同級生は焼け死んだ。このように生々しい体験をその授賞式で語られた。

この彼女の言葉を聞いて思い起こしたのが創世記1章です。神は闇の混沌とした中にまず光を創造されたのです。6日間かけて、さまざまなものを創造する中で、まず光を創造された。混沌として、ただ絶望しかない中で、まず光を造られた。サーロー節子さんにとって、死の淵にいなから光こそ、彼女の唯一の希望となったのです。

私たちにとって、本当に希望の持ちにくい、絶望に打ちひしがれるような時代に、なお希望を持ち続けることが可能だろうかと思えます。でも神は光をわれわれに与えて下さっているのです。この光を信じて、光に向かってはって行く勇気を、そして決断をしたいと願うのです。「光あれ」と言われた。そうして光があった、と聖書に記されています。この神のことは「光あれ」を信じて歩んでいきたいと願います。

## YMCA ニュース

冬季プログラムが終わり、間もなく3学期がスタートします。今年度のクリスマス献金は、1月31日(水)まで受付しております。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

## YMCA 1月の予定

- 1月5日(金) 新年礼拝(開始時間: 10:00(約1時間を予定)、場所: 桜山教会)
- 1月25日(木) YMCA 日本語学院 短期日本語プログラム交流会(時間: 11:00-12:00、場所: 名古屋 YMCA 日本語学院)

## ハッピーバースデー

メン 1月6日 木本精之助君  
7日 西村 清君  
15日 平野実郎君  
17日 河部 薫君  
19日 鈴木貞祥君

メネット 1月1日 鈴木俣子さん  
2日 加藤邦子さん  
6日 河部清美さん  
11日 中村正子さん  
30日 久保田美代子さん  
30日 深谷朗子さん

## BF

切手 深谷 聡君 180pt

## 会計より 会費納入 のお願い

会費は月額7,000円、年額84,000円です。特別メネット会員は年額24,000円です)できるだけ6ヶ月分42,000円を7月と1月に納入して下さるよう、お願いします。(3ヶ月分ずつ納入される方は7月、10月、1月、4月に納入して下さい)  
ゆうちょ銀行 記号12120 番号82306781 なまえ ナゴヤワイズメンズクラブ